



# 産土



彦島八幡宮社報  
第55号

発行所 彦島八幡宮社務所  
下関市彦島泊町五丁目十二番九号  
TEL 083-266-0700  
FAX 083-266-5911  
題字 柴田 宜夫  
編集者 山本 宜光



## 巻頭言

宮司 柴田 宜夫

宮司の柴田です。平素は、氏子崇敬者の皆様には、当八幡宮の奉護さらには、健全なる運営、祭典行事等の齎行につきまして、格別のご配慮お力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

ナポレオン治世時代の「ああ無情」の作者である、ビクトルユーゴは、「未来は弱者には不可能、臆病者には未知、そして、思慮深く勇敢な者には理想という名を持つ」と述べられています。未来を理想という名にするためにも、日々を積極果敢に、前向きに過ごしたいものです。

花は散つてもまた咲き、月も欠けてもまた、満ちますが、人の命は二世限りです。徒然草第九十三段にも、「されば、人、死を憎まば 生を愛すべし 存命の喜び 日々に楽しまざらんや」と記されています。自分が生きて、今存在しているという、これに勝る喜びがあるでしょうか、死を憎むのなら、その喜びを日々確認し、今ある命を楽しむべきだと、生きている今のありがたさを自覚しなさいと、優しく諭されているのです。今

ある命に感謝を捧げる、これこそが、神社神道の真髄なのです。

民族滅亡の「三つの原則」があるそうです。その三つとは、「理想を失った民族」、「価値を金銭に求める民族」、「歴史を忘れた民族」だそうです。私共の日々の祭典行事の御奉仕は、日本人が決して滅びない、理想を失わず、お金にかえられないかけがえの無いものに価値を見出し、歴史文化を大切に守る、そのことを守り伝える大切なつとめだと思います。

これからも、「神喜人喜地喜」、神様を喜ばす心で、地域に住む人々も笑み栄える、運命共同体としての地域社会が構築されますよう、一意専心、御奉仕申し上げますので、宜しくお導きください。私共をとりまく環境も厳しいものがあります。前記のとおり、「存命の喜び日々に楽しまざらんや」で、これからの皆様方の未来が、輝かしい理想となりますようお祈りを申し上げます。

## 奉賛料ご奉納のお願い

奉賛料は彦島全島の総氏神 彦島八幡宮の年中行事(神事祭礼)並びに神社の護持運営に使途されるものであります。ご賛同賜ることかありません。ご祈願されます内容をお念じつ、奉賛料封筒にお気持ちご奉賛下さいますようお願い申し上げます。

ご住所ご芳名ご祈願内容を明記下さい。宮司以下神職が、年間を通し、毎朝ご神前にて、国家安寧と皆様方のご安全ご平安と併せ祈願成就をお祈り申し上げます。

毎年の事で大変恐縮且つ又、御出費御多端の折柄誠に御迷惑とは存じ上げますが、神社奉護の為格別のご高配を賜りますよう伏してお願ひ申し上げます。

※ご奉賛の集納方法並びに時期は町内によって異なります。

※左記のご奉賛を賜りました方には、年末に新しい御札、曆をお届け致します。

二千元以上:

- 神宮大麻(伊勢の神宮さまの御札)
- 八幡大麻(彦島八幡宮の御札)
- 神社曆(日柄等の説明記載)

千円以上:

- 神宮大麻(伊勢の神宮さまの御札)
- 神社曆(日柄等の説明記載)



# 夏越祭

## 御神幸順路と到着予定時刻 【7/30(月・大安)】

本宮御発興 → 正面鳥居左折 → 下関三井化学内 → 三井化学前信号を直進 → 十二苗祖墳墓 → 卯月峠經由  
8:05 8:10 8:15

本村四つ角を右折 → 後山ジョイフル彦島店裏側坂を上り進行 → みやぎ理容院を右折 → 南国マンション・  
8:35

山口整形前交差点 → 県道を横断 江の浦2丁目坂を直進 → 関門トンネル上を右へ →

塩谷公園横を通過 福浦2町へ → 日ボリ産業前 → 山口三菱自動車角右折進行 → 日本歯科薬品前  
8:40 8:45 8:50

→ 福浦橋を渡り塩浜へ → 塩浜町民館前 → サンデン彦島営業所内 → 大通りを進行向井町方面へ  
9:05 9:20

→ 向井中央公園 → 山中町民館引き返し桜ヶ丘入口より峠を越し弟子待町方面へ → 弟子待町民館  
9:30 9:45 10:10

→ 弟子待を出て弟子待保育園を下り左折 → 芳無田公園方向へ右折進行 → なかべ学院  
10:30 10:45

→ 角倉町民館方向へ → 角倉公園 → 福浦口山口銀行前 → 杉田バス停信号を右に進行  
11:00

→ 三菱至誠寮前を左に上り江の浦8丁目中通を進み県道に出て右折 → 菱重ファミリティー&プロパティーズ (株)西日本支社前  
11:20

→ 三菱下船工場内 → 江の浦町民館 → サンセイ下関工場内  
11:35 12:15 12:30

昼食 (於、本村公会堂 TEL266-2219) 12:45 ~ 13:50

出発 → 老町 → 貴布禰神社階段下 → 海士郷恵比須神社前「漁協彦島支店にて海上渡御準備」出 船 ~  
14:00 14:05 14:15 15:00

~~ 下関漁港内一周 ~~ 小戸口、彦島大橋下を抜け ~~ ヒコットランドマリナービーチ沖を通過 ~~

### (西日本有数の御座船による“海上渡御”)

南風泊魚市場岸壁に上陸 → 魚市場前 漁協南風泊支店前 → 県道右折竹の子島に渡り前田造船所前引返し →  
15:45 15:55 16:00 16:10

西山町自治会館 → 彦島製錬 → 県道右折進行 → 彦島八幡宮前通過 → キャボットジャパン引き返し  
16:25 16:45 16:50

→ 荒田、絞バス停手前を左へ上り旧道を進行し県道を右へ → サンリブ彦島迫町店 → 本宮御還幸  
17:00 17:20

\_\_\_\_\_ : 修祓(一旦停止)箇所      \_\_\_\_\_ : お旅所(祭典、小休止)箇所

\*注意: 上記の時間は目安ですので、道路交通状況により多少前後致します事ご了承ください。

六月三十日より  
夏越祭まで  
拝殿前に茅の輪を  
設置致します。



茅の輪くぐりで  
罪穢れを祓いましょう

大祓人形に心身の罪穢れを移しましょう

おぼほらえひとがた

人形に氏名・年齢を記入(※車形の場合  
は、車のNo.プレートも記入)し、息を三回  
吹きかけ、分魂を宿らせた後、人形で体  
を撫でて下さい。こちらを夏越祭(七月二  
十九日)までに社務所までご持参下さい。



故人との関係	期間(※)内 は配偶者
父母・夫妻・子	五十日 (三十日)
祖父母・孫・ 兄弟姉妹	三十日 (十日)
曾祖父母・曾孫・ 甥姪・叔父叔母	十日 (三日)
いとこ・その他の 親族	三日 (一日)
特に親しい友人知己	二日

## 服忌【霊懸(日がり)】の目安

お守り、千歳飴、  
知恵おこし、お土  
産をご用意致し  
て、ご参拝をお持  
ち申し上げます。



\*平成30年お祝い(数え年)に該当の方は下記の通りです。

7歳	平成24年生 女子
5歳	平成26年生 男子
3歳	平成28年生 男子・女子

## 七五三参拝の御案内

6月	11日(月) 先勝 23日(出) 友引
7月	5日(木) 友引 17日(火) 仏滅 29日(日) 仏滅
8月	10日(金) 仏滅 22日(水) 赤口
9月	3日(月) 赤口 15日(出) 先勝 27日(木) 先勝
10月	9日(火) 先負 21日(日) 先負
11月	2日(金) 先負 14日(水) 仏滅 26日(月) 仏滅
12月	8日(出) 赤口 20日(木) 赤口

\*平成二十年六月〜十二月の戌の日は左記の通りです。

彦島八幡宮は別名『子安八幡』  
とも称され、安産の神様としても崇め  
られております。



## 安産祈願祭・腹帯清祓のご案内

- ◆喪家(葬家・遺族)の留意点
- ①氏神社や地域の祭祀行事への参列・奉仕を遠慮する。
- ②初宮詣り・七五三・結婚式等の人生儀礼の参拝を遠慮する。
- ③服忌期間中、神棚を白紙(半紙)で覆い、神祭り(祭祀)・御神札の取替を遠慮する。 ※最大五十日
- ④服忌期間中、御神札や御守等の授与品持受は遠慮する。
- ⑤服忌期間中に正月を迎える場合、正月飾り・年賀状の挨拶は遠慮する。新しい御神札は忌明けの小正月・旧正月・立春の何れかで奉斎する。